

## 平成27年上半期の労働災害が減少！ ～この傾向継続のために、今、行うことは？～

平成27年も半年を過ぎ、行政当局から上半期の労働災害発生状況が発表されました。昨年同期と比較し、死傷者数では全国で4.6%減、愛知県で6.0%減でした。また、死亡者数では全国11.9%減、愛知県30.1%減でした。

労働災害の減少傾向は、大変に喜ばしいことです。関係者のリスクアセスメントやKY活動などの地道な取組の成果と思われる。しかし、景気回復期の人手不足が顕在化し、安全活動が疎かになりがちなの時期に減少したことは、他にも、何らかの強力な要因があると考えなければなりません。私達の社会は、何かのブーム等がよい現象を生み、逆に悪い結果を招くことがあります。その何かを知り、一層の対応を図れば、更なる成果、つまり、労働災害の大幅な減少を図ることが出来るからです。



ILO「世界安全の日」のキャンペーンバスです。行き先は「ゼロ災害」、乗り遅れないで！

(参考:ILOのHPから掲載)

色々な社会事象、その他を振り返り検討するに、それは、今年1月から始まった「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」(厚労省:別掲のとおり)ではないかと考えました。転倒災害は、躓き、滑りの要因を対策するために、4S(整理・整頓・清掃・清潔)の取組が中心となります。誰もが躓いたり滑ったりして、ひやりとした経験があると思います。このプロジェクトは、そんな転倒事故等を課題として、シンプルな4S活動の実施を推奨するもので、多くの方の共感が得られたと推測されます。

しかも、4Sは全ての労働災害の基本対策です。多くの事業場と作業者が、転倒災害プロジェクトに関心を持ち、ちょっとした4Sを積み重ねることによって、労働災害全体の減少により影響を与えたと考えられます。

もし、皆様方の事業場で取組がこれからでしたら、どうぞ、労働災害の減少を目指すバスに乗り遅れないよう、「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」に参加下さることをお願いします。その結果、下半期にも一層の成果が得られることを期待しています。


(事務局)

# 「STOP！転倒災害プロジェクト2015」

(平成27年1月20日～12月31日)

## 1 趣旨

平成26年の労働災害発生状況を踏まえ、平成27年は、休業4日以上之死傷災害の2割以上と、最も件数の多い転倒災害に着目することになった。特に、高年齢労働者が転倒災害を発生させた場合は、その災害の程度が重くなる傾向にあるため、今後、労働力人口の高齢化が一層進行すると見込まれる中、事業場における転倒災害防止対策の徹底を図ることは極めて重要と考えられる。

業種・職種	災害の発生状況
飲食店	 <p>空の容器を抱えた状態で従業員通路の階段を降りていた時に、足元が見えず階段を踏み外してバランスを崩し転倒した。</p>
ケガの程度	
休業2ヶ月	
対策のポイント	
<ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 運ぶ容器を小分けにするなど足元が見えるようにする</li><li><input type="checkbox"/> 大きな荷物を運ぶ時は台車を使用する</li><li><input type="checkbox"/> 危険箇所には表示して注意を促す</li><li><input type="checkbox"/> 階段の昇降はゆっくりを心がける</li></ul>	

本プロジェクトは、職場における転倒リスクの総点検と、必要な対策を講ずることにより、職場の安全意識を高め、安心して働ける職場環境を実現することを目的として実施するものである。

## 2 事業場の実施事項

チェックリストを活用した職場の総点検を行い、安全委員会等での調査審議等を経て、職場環境を改善する。

### 【主な転倒防止対策】

- ① 段差・継ぎ目等の解消、4Sの徹底（床面の油汚れや水濡れ、障害物の除去）
- ② 照度の確保、危険箇所の表示等の「見える化」の推進
- ③ 安全な歩き方、作業方法の推進
- ④ 作業内容に適した保護具の着用の推進

## 3 チェックリスト等

詳細は厚労省のHP「職場のあんぜんサイト」を参照下さい。

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/tentou1501.html>